

防災について考えよう



今年は年明け早々大きな地震が発生しました。福岡でも19年前に西方沖地震が発生し、宗像地区には西山断層帯が走っています。地震に限らず、台風、火災などの災害にも備え、家の中に危険な場所がないか、災害が起きた時はどこへ避難するのか、何を準備しておくか、日頃から家族と話し合っておきましょう。

福岡県内の主な断層



資料：福岡県地震に関するアセスメント調査報告書をもとに作成
鎮田断層については、北九州市地域防災計画をもとに作成
※北九州市危機管理室提供

ハザードマップを再確認しよう！

参考資料



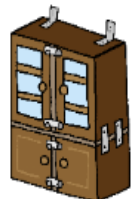
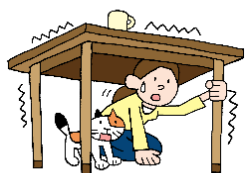
『福津市防災マップ』
福津市発行



『おうち避難のためのマンガ 防災図鑑』
草野 かおる 著
飛鳥新社 369.3/7 ポウサイ



『今どき防災バイブル 家族と自分の命をつなぐ最新常識』
富川 万美 監修
主婦の友社 369.3/イ ホクテ



固定が大事！

いざという時の避難先を家族と話し合っていますか？

在宅避難 住み慣れた自宅で生活を続ける場合、健康管理に留意し、食料、水、生活必需品や常備薬等の備蓄をしておきましょう。

分炊避難 自宅が危険な場合、早い段階で親戚や知人宅に避難する場合、災害の状況など最新の情報を気象庁や市等のホームページで確認するようにしましょう。

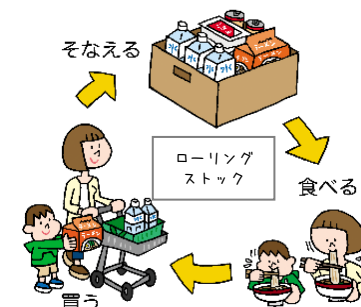


必要な物資の準備 事前に水や食料等避難生活に必要な物資を準備しておきましょう。

非常持出品リスト

- ・印鑑、預金通帳
- ・健康保険証(コピー)
- ・運転免許証(コピー)
- ・マイナンバーカード(コピー)
- ・ペットボトル500ml×3本
- ・ドライフーズ
- ・ビスケット、チョコレートなど
- ・常備薬(風邪薬、胃腸薬、鎮痛剤)
- ・体温計 ・液体歯磨き ・お薬手帳
- ・ウエットティッシュ ・懐中電灯
- ・携帯ラジオ ・携帯電話の充電器
- ・タオル ・ブランケット ・下着、靴下
- ・軍手 ・スリッパ ・使い捨てカイロ
- ・ビニールシート ・雨具(レインコート)

※参照:福津市防災マップより



いざという時、消費期限切れとなっていないよう、日頃から非常食を準備しておきましょう。

災害用伝言ダイヤル

- ・災害時の無料伝言サービスです
- ・毎月1日と15日に体験利用ができます
- ・相手の電話番号をメモしておきましょう



災害時は携帯電話がつながりにくくなります。家の近くの公衆電話の場所をご存じですか？使ったことのないお子さんは、使い方を練習しておくといいかもかもしれませんね。
※カメリアステージ図書館の敷地入り口にもあります。

暮らしの歳時記

『小暑(しょうしょ)』

小暑とは、梅雨が明けて本格的に夏になるころのこと。お世話になっている相手や親しい友人への暑さをねぎらう便りや、小暑までに出すのが梅雨見舞い、小暑から立秋までに出すのが暑中見舞い、立秋以降は残暑見舞いとなります。

『日本の七十二候を楽しむ』白井 明大//文 有賀 一広//絵 東邦出版 449.3/シ

私の心に響いた言葉

『些細なことを大切にしているか』

むずかしいことができて平凡なことができないということではない。むずかしいことよりも平凡なことのほうが大事である。

『人生と仕事について知っておいてほしいこと』松下 幸文助//述 PHP 研究所 159/マ

スタッフおすすめの本



『わたしのきもち』
藤枝 静暁//著
高橋書店 K140/7

友だち関係で悩んだ時や、どうしたらいいのか迷った時のヒントが詰まっている本です。困っている友だちを助けたいけどどうしたらいいかわからない時の対処法や、うまくいわずに落ちこんだ時に心を元気にする方法などが書かれています。子どもだけでなく大人が読んでも、心に響きます。友だちとトラブルになるのが心配で、我が子に携帯電話を持たせることに不安を感じていましたが、SNS でトラブルにならないための方法も書かれており、子どもと情報を共有しておこうと思いました。イラストとマンガで分かりやすく書かれており、本が苦手なお子さんにも読みやすいのでおすすめです。

(堀田)

スタッフよもやま話

みなさんご家族の携帯電話の番号を覚えていらっしゃいますか？ 私はすっかりスマホに頼ってしまっていて、番号を覚えていないことに気づきました。災害が起こった際、スマホがなければ連絡ができないという状況も十分考えられます。先日慌てて家族の連絡先を紙に書いて家の中に貼ったり、カバンに入れたりしました。(暗記することは記憶の容量不足で...) このところ地震が頻発し、大きな台風も最近増えています。災害がいつ発生しても(起こってほしくはないですが)慌てずに済むようできるかぎりの対策はしておこうと思います。西方沖地震から19年経ちましたが「災害は忘れた頃にやってくる！」を教訓に。

(久原)